

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金		3,000,000	0	3,000,000
小 計	0	3,000,000	0	3,000,000
特定資産		0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	0	3,000,000	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産		(0)	(0)	(0)
小 計	0	(0)	(0)	(0)
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産について、該当はありません。

5. 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務について、該当はありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

当期において、指定正味財産から一般正味財産への振替額はありません。

7. 重要な後発事象

重要な後発事象については、該当はありません。

8. その他

平成22年度は設立事業年度であり、業務としては平成23年4月1日より開始される事業の準備業務のみを行っている。